

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-45	中学校	数学科	数学	第1学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	数学 704	中学数学 1		

1. 編修の基本方針

本教科書は、教育基本法第二条に示す教育の目標及び学習指導要領の目標を達成するために、以下の方針に基づいて編修しました。

楽しさやよさを実感しながら、学力を確実に身に付ける

- 数学の楽しさやよさ、実社会とのつながりなどが感じられる教材や話題を豊富に掲載し、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにしています。
- 説明する活動や論証の学習を充実させて、真理を求める態度を養えるようにしています。
- 生徒が主体的に学習できるページを数多く設け、個人の能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養えるようにしています。
- 他者の考えを聞いたり自分の考えを説明したりする場面を設け、豊かな情操と道徳心を培うとともに、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしています。
- 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して学習を進めることで、数学的な思考力・判断力・表現力等を養うとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感できるようにしています。
- 既習内容をふり返ったり、生徒に多く見られるつまずきを取り上げたりして、基礎的・基本的な知識・技能が身に付くようにしています。
- 伝統や文化に関わる話題を掲載し、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養えるようにしています。
- 身のまわりにある場面や地球規模の環境に関わる課題を取り上げ、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしています。

具体的には、以下の内容を通して達成することを目指しました。

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通じた資質・能力の育成

◆知識・技能の習得

数学の基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるために、章の入口にはその章に関連する既習内容を確認する問題を、出口にはその章で学習した基礎的・基本的な内容がまとまったページを設けています。また、本文においては、既習内容をふり返ったり、生徒に多く見られるつまずきを取り上げたり、巻末には、前学年までの既習内容をふり返るページや、基礎・基本の定着を図るための問題ページを設けています。

1章 整数の性質 を学習する前に

1 約数 小学校 5年 ▶ 学びのマップ p.267 ②
次の問に答えてみましょう。

(1) 12の約数をすべて求めてみましょう。

(2) 16の約数をすべて求めてみましょう。

章の学習に入る前に、既習内容の確認ができます。▲p.12など

2章 学習のまとめ この章で学習した内容を振り返ってみましょう。

符号のついた数 ▶ p.26 反対の性質や方向をもつ数量は、基準を決めて、正の符号+、負の符号-を使って表すことができる。	正の数、負の数の加法 ▶ p.36 $(-4) + (-3) = -(4+3)$ $= -7$ $(-4) + (+3) = -(4-3)$ $= -1$
正の数、負の数 ▶ p.29 0より大きい数を正の数、0より小さい数を負の数という。	正の数、負の数の減法 ▶ p.40 $(-7) - (+2) = (-7) + (-2)$ $= -9$

章末では、章で学習した基礎的・基本的な内容を振り返ることができます。▲p.63など

学びのマップ

小学校で学習してきたこと

〈小学算数の学習〉

- ① 四捨五入、以上・以下・未満 (4年)
- ② 倍数、約数 (5年)
- ③ 分数と小数、整数の関係 (5年)
- ④ 小数の計算 (5年)
- ⑤ 分数の計算 (5、6年)
- ⑥ 計算の順序、計算法則 (4、5年)

〈中学1年の学習〉

- 1章 整数の性質
- 2章 正の数、負の数
- 3章 文字と式
- 4章 方程式

学習をふり返ったり、進めたりしよう。

巻末では、前学年までの既習内容を振り返ることができます。▲p.266

◆思考力・判断力・表現力等の育成

数学を活用して事象を論理的に考察する力、性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養うために、**学習したことを活用する課題や、多様な考え方ができる課題、自分の考え方を説明したり解決のしかたをみんなと話し合ったりする課題**などを設けています。

(1) 3人の求め方を、図を使ってそれぞれ説明しなさい。

かずまさん $3(x-1)$ 個

ゆかさん $\{x + (x-1) + (x-2)\}$ 個

りくさん $\{3(x-2) + 3\}$ 個

多様な考え方に触れる機会を設けています。▲p.92など

キャンドルライトは何個必要なのかな？

2011年3月11日午後2時46分、東北地方を中心にマグニチュード9.0の地震が発生しました。被害を受けた地域では、多くの人たちの力によって、復興に向けた取り組みが行われています。この日のことを忘れないように、毎年3月11日になると、各地で追悼イベントが行われます。

りくさんの町でも追悼イベントを行い、下の図のように、キャンドルライトを正三角形に並べるようになっていきます。

りくさん: 全体でどのくらいのキャンドルライトが必要になるのかな？

かずまさん: 全体の個数は、1辺に並べる個数によって、変わるね。

1辺に並べるキャンドルライト

身のまわりや社会にある事象を数学的に捉える課題を設けています。▲p.70など

補充問題

1章 整数の性質

1節 整数の性質

1 素数と素因数分解

1 次の自然数を素因数分解しなさい。

(1) 50 (2) 78 (3) 140

2 次の数を素因数分解し、素数の指数を使って表しなさい。

(1) 88 (2) 225 (3) 243

2章 正の数、負の数

1節 正の数、負の数

1 符号のついた数

1 横浜ランドマークタワーの高さ296mを基準にして、それより高い塔の高さを正の符号、低い塔の高さを負の符号を使って表すことにします。このとき、次の塔の高さを、正の符号、

基礎的・基本的な問題を反復練習することができます。▲p.285

5 りくさんは、次のように考えています。

1週間で平均150個集めていくと、目標の5000個をやや超えるから、1週間の目標を150個にするとよいと思います。

そのようにした場合、順調に集まっているかどうかを判断するときに、ゆかさんがつくった表がとても役に立つと思います。

りくさんは、ゆかさんがつくった表がどのように役に立つと考えているのでしょうか。

深めよう

学習内容を活用して深めたり広げたりする課題を設けています。▲p.62など

はるかさん

かずまさん

重複して数えた部分の個数を、あとからひくと...

2

3人の求め方をそれぞれ説明し、式で表してみましょう。また、3人の式をそれぞれ計算して、気づいたことを話し合ってみましょう。

みんなで話し合おう

課題を話し合っ解決する場面を設けています。▲p.95など

◆学びに向かう力、人間性等の涵養

数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとする態度を養うために、**学習したことのよさを強調する場面や、数学が生活の中で生かされていることを実感できる課題、学習感想を書かせる場面**などを設けています。

数の大小

① 正の数は0より大きく、負の数は0より小さい。
 ② 正の数は、その絶対値が大きいほど大きい。
 ③ 負の数は、その絶対値が大きいほど小さい。

+, -の符号と絶対値に着目すれば、数の大小を判断できるんだね。



2章の学習を通して、


ゆかさんのノートの例

- わかったことやよかったこと
- 大切だと感じたことや気づいたこと
- さらに学習してみたいこと

などを、ノートに書いてみましょう。

- ・ 正の符号、負の符号を使うことで、反対の性質をもつ数量を表すことができるようになった。
- ・ 負の数も正の数と同じように、数直線上に表せることがわかった。
- ・ 負の数を学習したので、小学校ではできなかった3-5のようなひき算ができるようになった。
- ・ (負の数)×(負の数)が正の数になることを説明するのが難しかった。
- ・ 負の小数や分数をふくむ計算を、正確にできるようにしたい。

学習感想の書き方の例を示しています。▲p.63など

学習したことのよさをおさえることができます。◀p.32など

上記の記事以外に特に留意した点

◆言語活動

自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うため、**自分の考えを説明したり他者の考えを聞いたりする場面**を数多く設け、**数学的な表現力を育成するとともに、他者とのコミュニケーションを通して、自分の考えを広げたり深めたりすることができるように**しています。

問6 異符号の2つの数の和について、次の問いに答えなさい。

みんなに説明しよう

(1) 符号について、どんなことがいえますか。

(2) 絶対値について、どんなことがいえますか。

$(+3)+(-2)=?$	$(-3)+(+2)=?$
$(+4)+(-1)=?$	$(+2)+(-5)=?$
$(-1)+(+6)=?$	$(-6)+(+3)=?$

1 1週間あたりに集めたキャップの個数の平均を、工夫して求めてみましょう。

いろいろな方法を考えよう。

ゆかさんとかずまさんは、次のようにして平均を求めました。

右下のような表をつくって…

第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週
-----	-----	-----	-----	-----	-----

問題をつかもう

自分の考えをもとう

友だちの考えを知ろう

自分の考えを説明したり友だちの考えを聞いたりして、問題を解決する場面を設けています。▲p.61など

自分の考えを説明する問題を設けています。◀p.36など

◆生活や社会への利用

主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うため、**数学を生活や社会に利用する場面**を数多く掲載しています。これらの教材を扱うことで、**数学の実用性を知り、数学の楽しさやよさを実感できるように**しています。

身のまわりには、立体とみなせるものがあります。



福岡県北九州市
北九州市立美術館



神奈川県藤沢市
湘南台文化センター

① 

② 

③ 

④ 

⑤ 

⑥ 

⑦ 

⑧ 

数学と生活との関連を実感することができます。▲p.206など

プロフィール

気象予報士
望月 圭子さん

もちづをけいこ
福島県出身。

大学では経済学部で国際経済学を学ぶ。卒業後はテレビ局のアナウンサーになるが結婚を機に退職し、「原稿を読むだけでなく、作る仕事もしてみたい」との思いから、気象予報士を目指す。

気象予報士試験に合格後、テレビやラジオの気象キャスターを経験し、現在はテレビの気象関連ニュースのサポートや原稿作成など、マルチに活躍。将来は誰からも頼りにされる「お天気おばあちゃん」を目指している。

数学は社会に生きています!

“天気予報に心をこめて”

Q 気象予報士って、どんな仕事ですか?

テレビやラジオ、新聞で天気予報を伝えていきます。天気についてわかりやすく説明する仕事です。

Q 数学は天気予報に役立っていますか?

大いに役立っていますよ。たくさんのデータを使うので、計算自体はコンピュータがするのですが、その計算方法には、いろいろな数学が

数学と職業との関連を実感することができます。▲p.278など

◆個に応じた学習

個人の能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うため、**学習したことをさらに深めたり広げたりする課題や、基礎・基本の定着を図る問題ページ**などを豊富に掲載し、生徒の実態に応じて取り組めるようにしています。

実力アップ問題

⑤ 素因数分解を利用して、126と420の最大公約数を求めなさい。また、公約数の個数を求めなさい。

⑥ 次の問いに答えなさい。

(1) 56にできるだけ小さな自然数をかけて、その積がある自然数の2乗になるようにします。どんな数をかければよいですか。また、どんな数の2乗になりますか。

(2) 252を自然数でわって、その商がある自然数の2乗になるようにします。どんな数でわればよいですか。すべて答えなさい。

数学の広場 自動車のナンバープレートを使った数遊び

自動車のナンバープレートには、自動車を特定できるように地域名、ひらがな、数字が書かれています。

・〇△□315・
 さ86-26

■ ナンバープレートに大きく書かれている4つの数字と、+、-、×、÷、かっこを使って、計算結果が10になる式をつくってみましょう。ただし、数字の順序は変えてもよいものとします。

8
6
2
6

学習したことを活用して、深める課題に取り組むことができます。▲p.59など

基本の問題

1 次の数量を、正の数、負の数を使って表しなさい。

(1) ある荷物の重さが基準の重さより8kg重いことを+8kgと表すとき、基準の重さより16kg軽いこと

(2) いまから10秒後の時刻を+10秒と表すとき、いまから5秒前の時刻

(3) 13人の増加を+13人と表すとき、25人の減少

反対の性質や反対の方向をもつ数量
 p.27 例2
 p.28 例3

既習内容をふり返って確認することができます。▲p.33など

既習内容を活用して、程度の高い問題に取り組むことができます。
 ◀p.285など

2. 対照表

図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭 学習するにあたって	○数学の学習を進めるにあたって、数学的活動の楽しさや数学のよさに触れることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度や、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるように配慮しました(第1号, 第3号)。	p.6
1章 整数の性質 章のとびら 数学の広場	○素数ゼミの話題を取り上げて興味・関心を広げ、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるように配慮しました(第1号)。	p.13 p.22
2章 正の数、負の数 4 正の数、負の数の活用 学んだことを活用しよう 工夫してノートを書こう	○ペットボトルのキャップを集めてリサイクル活動をする場面を取り上げ、環境の保全に寄与する態度を養えるように配慮しました(第4号)。 ○問題解決の過程において、他者の考えを聞いたり自分の考えを説明したりすることを通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるように配慮しました(第3号)。 ○インターネット電話を使って国際交流をする場面を取り上げ、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるように配慮しました(第5号)。 ○自分なりに工夫してノートをつくることを促し、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養えるように配慮しました(第2号)。	p.61 p.61 p.65 p.66
3章 文字と式 Let's Try 2 文字を使った式の計算 3 文字を使った式の活用	○東日本大震災の追悼イベントの場面を取り上げ、生命を尊ぶ態度を養えるように配慮しました(第4号)。 ○塵劫記に書かれている「薬師算」を取り上げ、伝統と文化を尊重する態度を養えるように配慮しました(第5号)。 ○学校で野菜や果物などを栽培する場面を取り上げ、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画して、その発展に寄与する態度を養えるように配慮しました(第3号)。 ○問題解決の過程において、他者の考えを聞いたり自分の考えを説明したりすることを通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるように配慮しました(第3号)。	p.70 p.92 p.94 p.95

4章 方程式 1 方程式とその解き方	○方程式に関連する他国の数学書を取り上げ、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度や、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるように配慮しました（第1号、第5号）。	p.115
2 方程式の活用	○大学駅伝の場面を取り上げ、数学と生活との関連を重んずる態度を養えるように配慮しました（第2号）。	p.121
	○問題解決の過程において、他者の考えを聞いたり自分の考えを説明したりすることを通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるように配慮しました（第3号）。	p.121
5章 比例と反比例 4 比例と反比例の活用	○ペットボトルのキャップを集めてワクチンと交換して世界の子どもたちに届ける活動を取り上げ、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるように配慮しました（第5号）。	p.159
	○問題解決の過程において、他者の考えを聞いたり自分の考えを説明したりすることを通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるように配慮しました（第3号）。	p.159
6章 平面図形 章のとびら 章の問題 数学の広場 2 作図	○「麻の葉模様」などの日本の伝統模様を取り上げ、我が国の伝統と文化を尊重する態度を養えるように配慮しました（第5号）。	p.167 p.200 p.204
	○遺跡から発掘された銅鏡を取り上げ、我が国の伝統と文化を尊重する態度を養えるように配慮しました（第5号）。	p.183
	○問題解決の過程において、他者の考えを聞いたり自分の考えを説明したりすることを通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるように配慮しました（第3号）。	p.184
7章 空間図形 Let's Try	○身のまわりにある立体を取り上げ、数学と生活との関連を重んずる態度を養えるように配慮しました（第2号）。	p.206
8章 データの分析 Let's Try	○バスの所要時間を取り上げ、数学と生活との関連を重んずる態度を養えるように配慮しました（第2号）。	p.240
2 データの活用	○データを収集する際の配慮やモラルについて注意喚起し、豊かな情操と道徳心を培えるように配慮しました（第1号）。	p.260
学んだことを活用しよう	○野球の投手が投げた球の速さについて取り上げ、数学と生活との関連を重んずる態度を養えるように配慮しました（第2号）。	p.264
巻末 数学の広場	○「エラトステネスのふるい」を取り上げ、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度や、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるように配慮しました（第1号、第5号）。	p.275
	○円周率 π の歴史を取り上げ、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるように配慮しました（第1号）。	p.276
	○正の数、負の数との関連から気象予報士を取り上げ、職業及び生活との関連が実感できるように配慮しました（第2号）。	p.278
	○データの分析との関連からデータアナリストを取り上げ、職業及び生活との関連が実感できるように配慮しました（第2号）。	p.280

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

○見やすく、わかりやすい紙面

学習内容の理解を深めることができるように、側注を設けて補足的な内容を扱ったり、文節で改行したりして、視覚的にも読みやすくわかりやすい紙面に配慮しています。

○カラーユニバーサルデザイン（CUD）や特別支援教育への対応

色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字（ユニバーサルデザインフォント）などの工夫により、すべての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。

○地球となかよし

教科書の印刷には、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への負担軽減に配慮しています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-45	中学校	数学科	数学	第1学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	数学 704	中学数学 1		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

基本的な構成と趣意

本教科書は、生徒が学習の主人公となるように、数学的活動を通して、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図りました。また、基礎・基本の確実な習得を図るとともに、学習したことを活用しながら数学的な思考力・判断力・表現力等を育て、さらには、数学を学習する楽しさやよさが感じられるように編修しました。

◆数学的活動を通して、「主体的・対話的で深い学び」の実現

自らの疑問を大切に
「？」

●学習の過程で生ずる**生徒の疑問**を取り上げ、学習を進めていく中でそれを解決したり、また**新たな問い**を見いだしていくような「主体的な学び」が実現できるようにしています。

? もれなく重複なく約数を求める方法はないのかな?

▲p.19など

数の大小を考えると、いつも数直線を利用しないといけないのかな?

▲p.31など

問題発見・解決の
プロセスを意識づける
『学習のプロセスページ』

●『学習のプロセスページ』では、**問題発見・解決の数学的活動のプロセス**を例示しています。「自分の考えをもとう」「みんなで話し合おう」などのラベルをつけ、**自分の考えを説明したり、話し合ったり、ふり返ったりする活動**を通して、「主体的・対話的で深い学び」が実現できるようにしています。

目標を達成することはできるかな?

はるかさんのクラスでは、ペットボトルのキャップを集めて、リサイクルする活動をしています。1年間で5000個を集めることを目標にしました。下の表は、4月からの6週間で集まったキャップの個数です。

	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週
キャップの個数(個)	155	149	148	150	153	157

このペースでキャップを集めるとすると、来年3月までに目標を達成することはできるでしょうか。

1 週間あたり集めたキャップの個数の平均を、工夫して求めてみましょう。

ゆかさんとかずまさんは、次のようにして平均を求めました。

▲p.61など

◆知識・技能の習得

章の入口と出口で
取り組む
『○章を学習する前に』
『学習のまとめ』

●章の入口では、章の学習の準備として**問題形式で既習内容を確認する『○章を学習する前に』**を設けています。

●章の出口では、その章で学習した**基礎的・基本的内容を確認する「学習のまとめ」**を設けています。

2 正の数、負の数 を学習する前に

1 数の大小 小学校5年
次の数を小さい順に並べてみましょう。

4.5, $\frac{5}{2}$, 0, $\frac{1}{2}$, 1

0 1 2 3

▲p.22など

2章 学習のまとめ この章で学習した内容をふり返ってきましょう。

序章のついでに数 p.26
反対の性質や方向をもつ数直線は、基準を決めて、正の符号・負の符号を使って表すことができる。

正の数、負の数 p.29
より大きい数を正の数、より小さい数を負の数という。

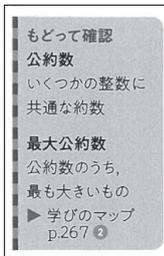
正の数、負数の加法 p.36
 $(-4) + (-3) = -(4+3) = -7$
 $(-4) + (+3) = -(4-3) = -1$

正の数、負数の減法 p.45
 $(-7) - (+2) = (-7) + (-2)$

▲p.63など

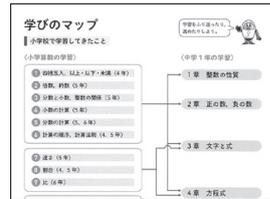
つまづきへの対応
『もどって確認』
『学びのマップ』

●既習事項で定着が悪い内容については、本文中の『もどって確認』でふり返ることができます。



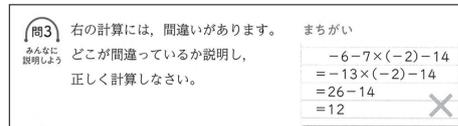
▲p.19など

●巻末に、小学校算数の内容を一覧にまとめて『学びのマップ』を設け、適宜、ふり返ることができます。



▶p.266

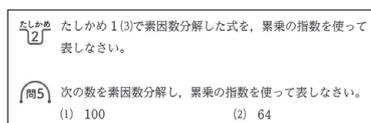
●多く見られる誤答については、誤答例を示して、どこが間違っているのかを考えさせる問題を設けています。



▲p.57など

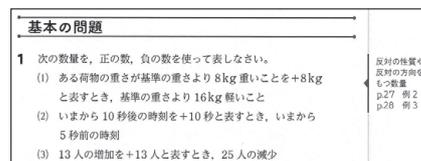
豊富な問題量
『たしかめ』
『問』
『基本の問題』
『補充問題』

●『たしかめ』『問』『基本の問題』で、多数の問題に取り組むことにより、基礎・基本の確実な習得を図ることができます。

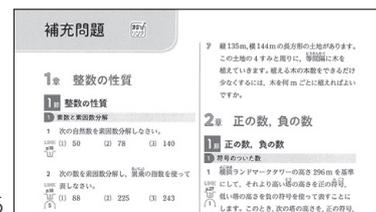


▶p.18など

▶p.33など



●巻末の『補充問題』に取り組むことで、さらに習熟を図ることができます。

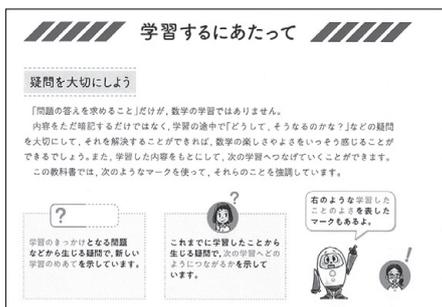


▶p.285

◆思考力・判断力・表現力等の育成

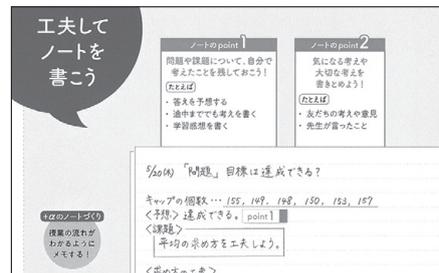
学習の進め方
『学習するにあたって』
『工夫してノートを書こう』

●巻頭では、疑問を大切にしながら主体的・対話的に学びを深めていく学習の進め方を示しています。



▲p.6

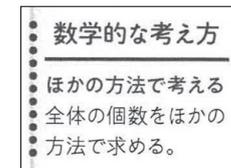
●ノートの書き方は、思考力や表現力を高めるうえで欠かせないツールです。ノートの書き方を例示し、自分なりの工夫のしかたについて示唆しています。



▲p.66

数学的な見方・考え方の育成
『数学的な考え方』

●数学の学習で使いたい「数学的な考え方」を、巻頭で具体的な事例をもとに紹介しています。また、本文中でも、典型的な箇所を中心に、具体的な説明を加えながら意識づけできるように取り上げています。



▲p.92など

▶p.8

スムーズに本文の
学習へ
『Let's Try』

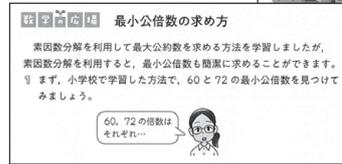
統合的・発展的な活動
『数学の広場』

知識・技能の活用
『学んだことを
活用しよう』

●章の導入課題『Let's Try』では、**日常の事象の考察から数学的活動を始め**、生徒の疑問を引き出し、学習のめあてを明確にして数学的な課題につなげていきます。

●『数学の広場』では、生徒の興味・関心に応じて、**学習を深めたり広げたりする話題**を扱っています。

●章末及び巻末に『学んだことを活用しよう』を設け、**基礎的・基本的な知識・技能を活用する問題**を扱っています。

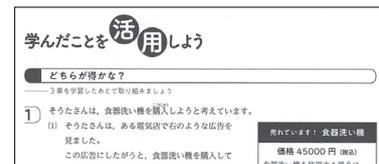


▲p.24など

◀p.20など



◀p.65など

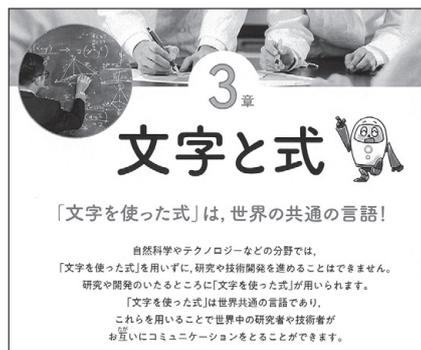


◀p.282

◆**学びに向かう力、人間性等の涵養**

学習の必要性を実感
『章のとびら』
『数学の広場』
『数学メモ』

●『章のとびら』では、**社会や生活、先端テクノロジー**などに関する話題を扱っています。**章の学習の必要性や数学の有用性**が感じられる話題を通して、**学びに向かうきっかけ**をつくります。



▲p.69など

●『数学の広場』『数学メモ』では、生徒が**興味・関心**を抱く課題や数学に関連する知識、**数学の歴史的・文化的な話題**などを掲載しています。また、巻末の『数学の広場』では、**職業における数学の活用**について取り上げ、**社会性が培われる**ようにしています。



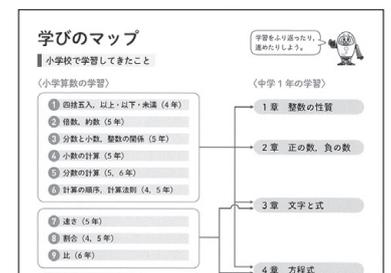
▲p.278など

◆**小学校算数との関連**

小学校の既習内容を
確認できる
『〇章を学習する前に』
『もどって確認』
『学びのマップ』

●**小中の滑らかな接続**に配慮し、『〇章を学習する前に』や『もどって確認』などで、**適宜、小学校で学習した既習内容を振り返ることが**できるようにしています。▶p.12, p.19など

●巻末の『**学びのマップ**』では、**小学校で学習した主な内容を、領域ごとに分けて一覧**にして掲載しています。そこでは、**中学校数学との系統性**についても示しています。



▶p.266

その他の特色

◆学びのユニバーサルデザインの実現と環境への配慮

カラーユニバーサルデザインや特別支援教育への対応

●色覚等の特性をふまえた判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などの工夫により、すべての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。また、側注を設けて補足的な内容を扱ったり、文節で改行したりして、視覚的にも読みやすくわかりやすい紙面に配慮しています。

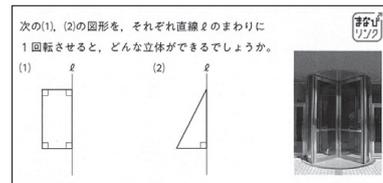
環境への配慮

●教科書の印刷には、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への負荷軽減に配慮しています。

◆コンピュータなどの活用

効果的な学習への配慮

●をつけたところでは、デジタルコンテンツを活用して、効果的に学習ができるようにしています。



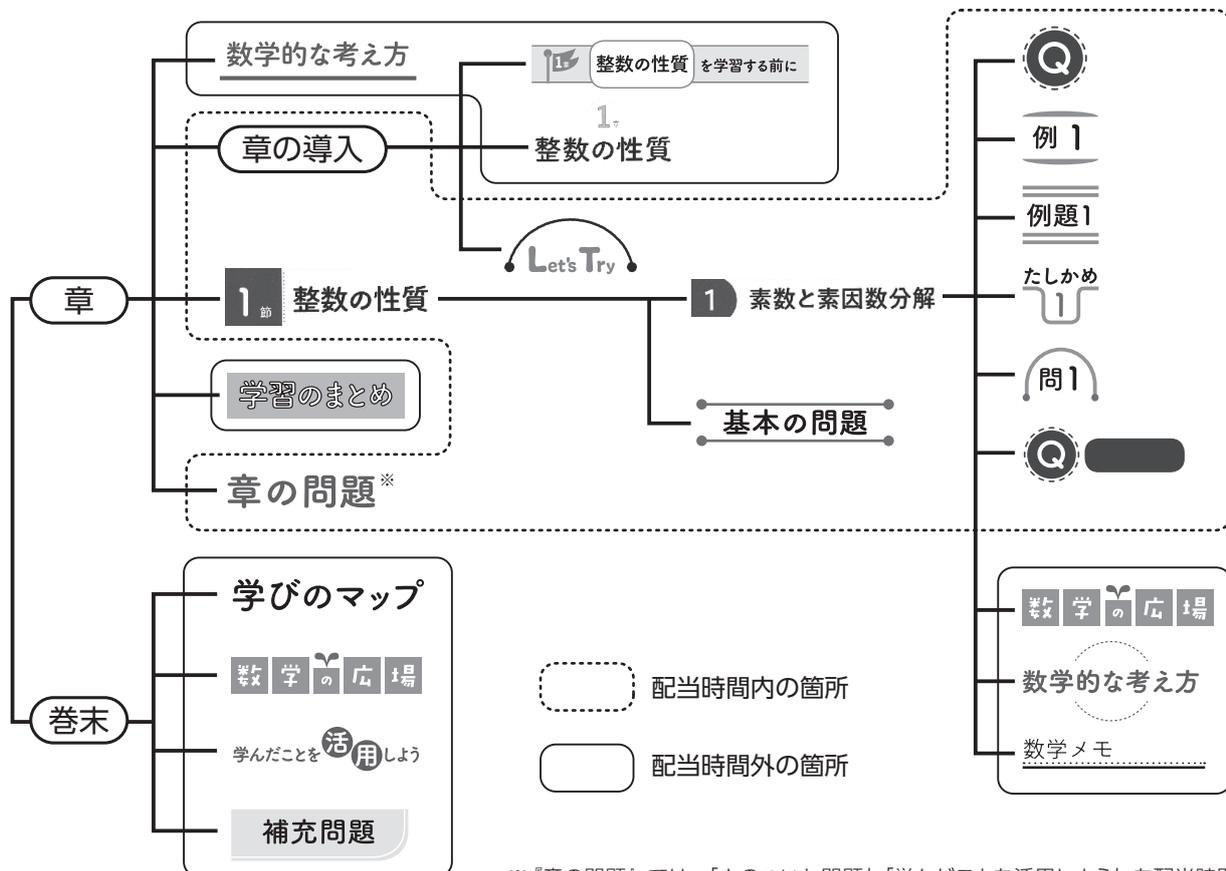
▲p.220など

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時間
1章 整数の性質 Let's Try 1 整数の性質 学習のまとめ 章の問題	A(1) A(1) A(1) A(1)	p.14～p.15 p.16～p.20 p.21 p.21	[4] 3.5 0.5
2章 正の数、負の数 Let's Try 1 正の数、負の数 2 加法と減法 3 乗法と除法 4 正の数、負の数の活用 学習のまとめ 章の問題	A(1) A(1)ア(ア) A(1)ア(イ) A(1)イ(ア) A(1)ア(イ) A(1)イ(ア) A(1)ア(ウ) A(1)イ(イ) A(1) A(1)	p.24～p.25 p.26～p.33 p.34～p.45 p.46～p.60 p.61～p.62 p.63 p.64～p.65	[23] 5 8 8 1 1
3章 文字と式 Let's Try 1 文字を使った式 2 文字を使った式の計算 3 文字を使った式の活用 4 数量の関係を表す式 学習のまとめ 章の問題	A(2) A(2)ア(ア) A(2)ア(イ) A(2)ア(イ) A(2)ア(ウ) A(2)イ(ア) A(2)ア(エ) A(2)ア(エ) A(2) A(2)	p.70～p.71 p.72～p.83 p.84～p.93 p.94～p.95 p.96～p.98 p.99 p.100～p.101	[19] 8 6 2 2 1
4章 方程式 Let's Try 1 方程式とその解き方 2 方程式の活用 学習のまとめ 章の問題	A(3) A(3)ア(ア) A(3)ア(イ) A(3)イ(ア) A(3)イ(イ) A(3) A(3)	p.104～p.105 p.106～p.116 p.117～p.126 p.127 p.128～p.129	[16] 9 6 1
5章 比例と反比例 Let's Try 1 関数 2 比例 3 反比例 4 比例と反比例の活用 学習のまとめ 章の問題	C(1) C(1)ア(ア) C(1)ア(イ) C(1)ア(ウ) C(1)ア(エ) C(1)イ(ア) C(1)ア(イ) C(1)ア(エ) C(1)イ(ア) C(1)イ(イ) C(1) C(1)	p.132～p.133 p.134～p.136 p.137～p.147 p.148～p.155 p.156～p.161 p.162 p.163～p.164	[19] 3 6 5 4 1

6章 平面図形 Let's Try 1 平面図形の基礎 2 作図 3 図形の移動 4 円とおうぎ形の計量 学習のまとめ 章の問題	B(1) B(1) B(1)ア(ア) B(1)イ(ア) B(1)イ(ウ) B(1)ア(イ) B(1)イ(イ) B(1)イ(ウ) B(2)ア(イ) B(1) B(2)ア(イ) B(1) B(2)ア(イ)	p.168～p.169 p.170～p.176 p.177～p.187 p.188～p.192 p.193～p.198 p.199 p.200～p.201	【18】 4 7 3 3 1
7章 空間図形 Let's Try 1 空間図形の基礎 2 立体の見方と調べ方 3 立体の体積と表面積 学習のまとめ 章の問題	B(2) B(2)ア(ア) B(2)イ(ア) B(2)ア(イ) B(2)イ(イ) B(2) B(2)	p.206～p.207 p.208～p.218 p.219～p.226 p.227～p.234 p.235 p.236～p.237	【17】 7 5 4 1
8章 データの分析 Let's Try 1 度数の分布 2 データの活用 学習のまとめ 章の問題	D(1) D(1)ア(ア) D(1)ア(イ) D(1)イ(ア) D(2)ア(ア) D(2)イ(ア) D(1)イ(ア) D(1) D(2) D(1) D(2)	p.240～p.241 p.242～p.259 p.260～p.262 p.263 p.264	【12】 10 1.5 0.5
学びのマップ 数学の広場 学んだことを活用しよう 補充問題 解答 さくいん グラフ用紙 正多面体の展開図 立体模型	C(1)ア(エ) B(2) B(2)ア(イ)	p.266～p.274 p.275～p.281 p.282～p.284 p.285～p.300 p.301～p.309 p.310～p.311 巻末折込 // //	
合 計			128

配当時数に関して



編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-45	中学校	数学科	数学	第1学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	数学 704	中学数学 1		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
85	同類項	1	A(2)ア(ウ) 簡単な一次式の加法と減法の計算をすること。 上記に関連して、文字を使った式の計算をより深く理解する。	0.25
92	薬師算	1	A(2)ア(エ) 数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができる ことを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすること。 上記に関連して、文字を使った式を用いた表し方や読み取り方をより深く 理解する。	0.5
102	累乗どうしの乗法	1	A(2)ア(イ) 文字を用いた式における乗法と除法の表し方を知ること。 上記に関連して、文字を使った式の乗法の表し方をより深く理解する。	0.5
202	三角形の外心と内心	1	B(1)ア(ア) 角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作 図の方法を理解すること。 B(1)イ(ア) 図形の性質に着目し、基本的な作図の方法を考察し表現する こと。 上記に関連して、基本的な作図を基にして三角形と円の関係を調べること を通して、平面図形の性質をより深く理解する。	2
248	外れ値	1	D(1)イ(ア) 目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分析の 傾向を読み取り、批判的に考察し判断すること。 上記に関連して、代表値、範囲とデータの分布のしかたの関係をより深く 理解する。	0.25
合 計				3.5

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容